

令和6年度第3回札幌方面岩内警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年2月20日（木）午後1時30分から午後2時45分までの間

2 開催場所

札幌方面岩内警察署 会議室

3 出席者

(1) 札幌方面岩内警察署協議会 6人（定員7人：欠席1人）

会 長	池本 美紀
副 会 長	佐藤 千夏
委 員	本田 和夫
委 員	舟見 晃
委 員	藤原 富美子
委 員	大橋 敦子

(2) 札幌方面岩内警察署 7人

署 長	渡邊 勇一
副 署 長	氏家 岐洋
刑事・生活安全課長	牧 祐紀
地域課長	佐藤 史暁
交通課長	南 祐希
警備課長	間島 周平
警務係長	（庶務担当）

4 議事

(1) 会長挨拶

(2) 署長挨拶

(3) 前回協議会における提言等を踏まえた取組

【携帯電話の不感地帯について】

ア 委員の要望、意見

当丸峠は携帯電話が全くつながらず、原発事故が発生したときの避難道路にもなっているため、緊急の際に携帯電話が繋がらないと困るのですが、電波の不感状態を解消するにはどこに連絡をすれば良いのですか。

イ 警察措置

前回御提言のあった、泊原発の避難道路でもある、神恵内村の当丸峠の携帯電話不感地帯の改善方策について調査したところ、各自治体から、国や各事業者に対して改善の要望を行うのが通常ルートであることが判明しました。

また、同じく避難道路である共和町の道道泊共和線にも、トンネル内など、一部不感地帯があることが分かりましたので、神恵内村役場と共和町役場に対し、不感地帯の解消に向けた取組の有無について確認しました。

その結果、両自治体とも、これらの不感地帯は既に承知しており、神恵内村については、かねてから国に対して不感地帯の解消を要望していたところ、最近になってソフトバンクがサービスエリアを拡大し、全区間ではありませんが道道古平神恵内線がかなりのエリアで携帯電話がつながるようになっています。

ドコモやauは、まだ対応できていない模様です。

共和町の道道泊共和線の不感地帯については、早急な対応を求めるべく、共和町から近く道路管理者である北海道に申し入れを行う予定とのことです。

(4) 管内概況等説明

ア 刑法犯認知・検挙状況、防犯啓発活動状況等（刑事・生活安全課）

イ 令和6年中におけるヒグマの目撃状況・街頭啓発実施状況（地域課）

ウ 令和6年中の交通事故発生状況、交通事故抑止活動状況（交通課）

エ 北海道電力泊発電所の警戒警備（警備課）

オ 警察官採用について（警務課）

(5) 質疑応答

ア 外国人に対する通訳について

【委員】

外国人が増えてきていますが、中国の人や、ベトナムの人が事件に巻き込まれた場合に事情を聞くことが大変だと思いますが、岩内署などの小さな警察署では通訳は大丈夫なのか心配です。

【警察】

地域警察官は、一般の携帯電話に搭載されているものと同様の翻訳ツールを持っており、簡単な対応は可能です。

また、警察本部には電話対応ができる通訳専門の職員もおりますので、これらを活用し対応を行っています。

イ 泊発電所における警察官の警戒体制について

【委員】

泊発電所で警戒してる警察官は常時いるのですか、また何人くらいいるのですか。

【警察】

人数や体制等は警備上の問題から公表は差し控えますが、機動隊から交替で来て警戒をしています。

ウ 警察官のレスポンスタイムについて

【委員】

去年の春、共和町国富で人が倒れているのを発見し、救急車を呼んだ後、警察にも通報したのですが、警察官や消防の到着が遅く、2次災害の危険などもあるので早く現場に来ていただきたかったという感想です。

また、通報時に、名前や住所、連絡先を聞くのは仕事上やむを得ないことなのかもしれませんが、後からでも良いのではないかと思いますのですが。

【警察】

管轄する駐在所員は常時在所しているわけではなく、他の事件・事故に対応していて、直ちに現場に向かえない場合もあるので、通報があれば一番近くにいる警察官に臨場させますが、警察官の数にも限りがあり、状況によっては御迷惑を掛ける場合もあります。

我々も迅速な臨場ができるよう努めております。

警察官の人数が少ないながらも一生懸命最善の方法を取り、急訴事案であれば緊急走行で現場に臨場させますが、結果的に時間がかかってしまったことは、改善、検証しなければならないと思います。

また、通報時に名前や住所等を聞くのは、日時や場所、通報者などを順番に把握し事案の全体を把握することが目的でありますので御協力をお願いします。

【委員】

スマートフォンで110番する場合と自宅から110番する場合はつながる場所が違うのですか。

【警察】

以前は、固定電話から110番通報すると警察署に直接つながり、携帯電話で110番通報すると札幌の通信指令課につながっていたこともありますが、現在は全て札幌の通信指令課につながります。

【委員】

数年後に寿都警察署と一緒にになりますが、その時にも同じ意見が出るかも知れないですね。

エ 外国人に対する交通安全教室について

【委員】

外国人に対する交通安全教室は、どのようにして開催していますか。

【警察】

外国人就労者が働いている事業所や代表者に対し、警察側から声掛けをして、開催しています。

【委員】

農家で外国人を雇っているところが増えてるので、こういった教室をもっと増

やして欲しいです。

【委員】

外国人の飲酒運転についても、日本では絶対ダメですが、オーストラリアでは2杯まで大丈夫みたいなルールがあるらしく、こういった教室は大事なことだと思います。

- 5 次回の開催予定
令和7年6月を予定